

Q&A

Q: どのような生徒が就学の対象になりますか？

A: 知的障害、肢体不自由のある生徒で、日常生活や他人とのコミュニケーション等に、多くの支援が必要な生徒が対象となります。知的障害のないLD等の発達障害は対象ではありません。

Q: どのような学習をしていますか？

A: 一人一人の実態に合わせて、中学校に準じた各教科と、いくつかの教科等を合わせた指導として「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」、障害による学習上、生活上の困難を改善・克服するための指導として「自立活動」を行っています。

基礎的な教科の学習とともに、基本的生活習慣の確立や集団参加等、社会自立に向けた学習や、働くことへの基礎的な態度・知識・技能の習得に向けた学習を行っています。

Q: 生徒の給食にはどのような配慮がされていますか？

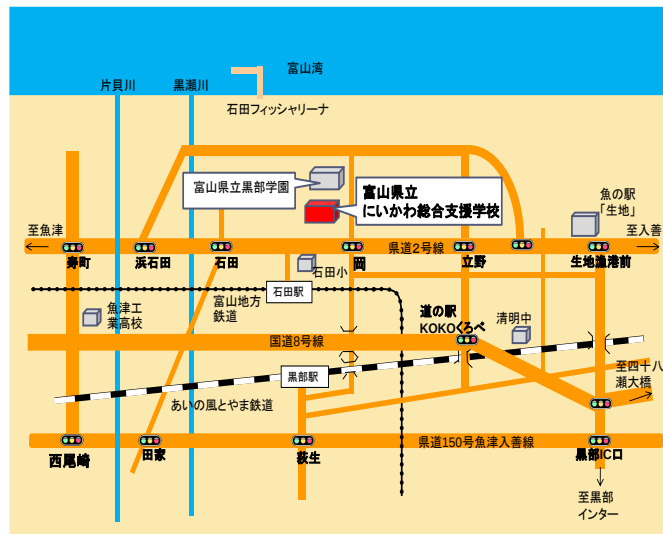
A: 生徒の実態や特性に応じて、主治医等の診断に基づき、刻み食等の提供をしています。

Q: どのような部活動がありますか？

A: 木曜日の放課後、15:15～16:15まで陸上競技部、スポーツ部、パソコン部、音楽部、美術部が活動しています。中・高等部の生徒の希望者で参加規定を満たす者が対象です。

(年間15回程度、1年生は、10月より)

○家庭の経済状況に応じて国から特別支援教育就学奨励費として、交通費・給食費等の全額又は一部が支給されます。



富山県立にいかわ総合支援学校

〒938-0059
富山県黒部市石田 6682
電話: 0765-54-1288
FAX: 0765-54-0904
URL: <http://www.niikawa-sh.tym.ed.jp>
Email: niikawashien@ed.pref.toyama.jp

Ｒ7. 4月 改定

〈学部案内〉

明るく

仲よく

元気よく



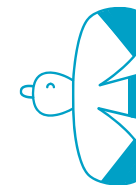
中学部生徒作品

富山県立にいかわ総合支援学校 中学部



にいかわ総合支援学校は、新川地域にある唯一の特別支援学校です。
知的障害児童生徒と肢体不自由児童生徒を教育の対象としています。

- ・児童生徒は自宅から、スクールバス、自家用車、あいの風とやま鉄道や富山地方鉄道、自転車を利用して通学しています。また、隣接した児童福祉施設「富山県立黒部学園」から通学する児童生徒もいます。
- ・教育活動は小学部、中学部、高等部別に行っています。学校へ通学して教育を受けることが困難な児童生徒には、訪問教育を行います。
- ・障害種別に学級編制を行い、知的障害と肢体不自由それぞれの教育課程で学習します。
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行います。



中学部の目標 集団活動の中で自分の良さを知り、自立した生活を送る生徒を育成する。

目指す生徒の姿

- ✦ 周囲の人に感謝の気持ちを持ち、よりよく生きようとする生徒
- ✦ 活動に意欲的に取り組むことができる体力のある生徒
- ✦ 日常生活や社会生活に必要な知識や技能を身に付けた生徒
- ✦ 自分の良いところ・相手の良いところに着目し、共に協力して活動することができる生徒
- ✦ 身の回りの社会に興味・関心を持ち、集団の中で自分の役割を果たすことができる生徒

主な年間行事

運動会（5月）
学習発表会（10月）
校外学習（年1回）※3年生は年2回
共同宿泊学習（1、2年生）
修学旅行（3年生）
学習参観（2月）
学校公開DAY（年2回）



学習の内容

- ✦ 教科等
国語、数学、音楽、美術、保健体育、総合的な学習の時間
- ✦ 自立活動
心身の調和的発達を目指し、自己表現力、作業に必要な技能、ソーシャルスキル、社会的ルールを身に付けます。
- ✦ 日常生活の指導
身辺処理、挨拶、掃除、係の仕事等、望ましい生活習慣の形成を図ります。
- ✦ 生活単元学習
買い物や公共施設利用等、社会生活に必要な事柄を実践的に学習し、生活に生かします。
- ✦ 作業学習
リサイクル作業やクラフト、縫製手芸、園芸及び園芸加工等の作業を通して、働くための基礎的な力を身に付けます。

* 知的障害のない肢体不自由の生徒には、中学校に準じた教育を行います。

交流及び共同学習（予定）

石田地区老人会 清明中学校 魚津高等学校

本校への就学の流れ * 随時教育相談を行っています。

